



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成22年10月24日（第34号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL (88) 6637 FAX (88) 3231

生ごみの処理について

～快適・簡単にちょっとエコライフしてみませんか～

生ごみと言えば、悪臭を発したり動物が散らかしたりと処理が難しい印象を強く持つ人も多いと思います。

そんなとき、生ごみ処理機やコンポスト容器を利用してはいかがでしょうか。

又、生ごみ処理機にもいろいろな種類があります。《本誌裏面にて特徴について紹介》

正しい処理の方法を知り、生ごみを楽しく処理していただくために、それぞれのライフスタイルにあった生ごみ処理機を購入して手軽にエコ活動してみませんか。

宇治田原町では生ごみ処理機を購入に際し、**補助金制度**を設けております。



家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助金について

補助対象となるもの・・・生ごみ処理機、コンポスト容器など

補助対象者・・・町内在住で購入された処理機などを町内に設置していただける方（1世帯2基まで）

補助金額・・・購入金額の半分の補助となりますが、3万円を上限とさせていただきます。

申請方法・・・購入店の領収書を添えて申請書を提出して下さい。
申請書については宇治田原町ホームページからダウンロードしていただくか、役場の建設・環境課にてお渡ししています。

お問い合わせ先・・・宇治田原町役場 建設・環境課 (Tel 0774-88-6637)

次の方・団体から22年度賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

株式会社宇治田原製茶場、宇治田原工業団地管理組合、宇治田原町商工会、
宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社、区長会、J A 京都やましろ宇治田原支店・田原支店、
株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、株式会社堀口新聞販売所、有限会社富山資源開発、
米田造園土木株式会社、株式会社山岡製作所

※平成22年9月現在（敬称略・順不同）

今回は代表的な生ごみ処理の方法について、その特徴をご紹介します。

<p>乾燥型生ごみ処理機</p> <p>加熱により水分を除去し、乾燥により減容化を図ります。600W程度のヒーターで加熱し、生ごみ投入後、1時間程度経過してから容器内の回転プロペラで攪拌します。</p> <p>処理概要及び特徴については右の通りです。</p>	<p>☆分解補助剤を必要としないため、小型にできます。 ☆数時間稼働するだけなので、電気代は月1,000円程度です。 ☆短時間で乾燥処理できる為、悪臭が発生しにくい印象があります。 ☆加熱温度は130℃前後で有毒ガスが発生しないと言われていています。病原菌も死滅し衛生的です。 ★機種が少ないため高価な感じがします。 ★室内の場合、音が気になる場合があります。</p> <p>使い方 ①生ごみ投入。 ②処理コース選択し、スイッチを入れる。 ③時間がくればスイッチは自動で切れる。 ④追加投入可能。1週間で容器を逆さにし、処理物を取り出す。</p>
<p>微生物分解型生ごみ処理機</p> <p>基本は微生物が生ごみを処理する仕組みなので、微生物が働きやすい環境が必要になります。(菌床20ℓ程度)</p> <p>処理概要及び特徴については右の通りです。</p>	<p>☆プロペラが回転し、攪拌します。1時間30分程度。 ☆屋外設置型が多い。 ☆冬期温度対策として、100W程度のヒーターをつけたものが多い。 ★悪臭と排水対策が必要となります。 ★手数がかかります。</p> <p>使い方 ①容器に菌床投入。 ②生ごみ投入。 ③ふたを閉めると自動運転。 ④毎日投入し、水切りをこまめにする。 ⑤水分が多く漬物臭がしたら、ごみ投入中止。臭いがおさまらないときは、菌床を充填する。</p>
<p>コンポスト容器</p> <p>容器の中で、土壌と生ごみを接触させ、土中の働きで、生ごみの有機成分を分解し、堆肥化を図る方法です。生ごみを堆肥にするには、適度な湿り気とたっぷりの空気そして温かいことが基本となります。</p> <p>処理概要及び特徴については右の通りです。</p> <div data-bbox="463 1289 753 1440" data-label="Image"> </div> <p>『一口メモ』 ◎冬場は乾燥させるため、透明ビニール袋を被せて保温。太陽光を入れると堆肥化が進む。 ◎悪臭の原因は、水分過多 ◎外容器に溜まった水は、1000倍に希釈し野菜や花に撒く。</p>	<p>☆容器は、70ℓ・100ℓ・130ℓ・500ℓです。 ☆堆肥作りの主役となる好気性微生物は、生ごみを分解するときは発熱しない。又、生ごみを分解するときに増殖する。呼吸熱60℃程度。これにより菌が死滅し堆肥ができる。 ☆生ごみは80%が水なので、水きりが必要となります。含水率45%～60%の湿り気がベストです。 ★欠点として不快な悪臭・虫の発生が考えられます。 ★設置場所として畑などがないと難しい処理方法です。</p> <p>使い方 ①分別の徹底。 ②水切り徹底と風乾・・・水切り、米ぬか ③細かく刻む。 ④魚の内臓は火を通す。⑤湿度が上昇すると臭う。 ⑥米ぬか1に対し、土を2～3の割合で混ぜる。</p> <p>二次処理 ①生ごみ投入前にスコップで切り返す。 ②水切りざるにためた生ゴミ投入。 ③土、雑草、落ち葉、米ぬか投入・・・水分調整剤 ④天気の良い日は、蓋を開け太陽の光をいれる。 ⑤水分過多で虫が発生 → 乾いた土を入れる。廃油石鹸投入も良 ⑥南側で日当たり良い排水、風通し良い場所に置く。 ⑦寒い時は、生ごみが未分解。容器を別の場所に設置する方法も有。</p>

★エコパートナーシップうじたわら入会のご案内★

<p>◆会員の区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人会員＝町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人 ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人 ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人 <p>◆会費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人会員・団体会員については、無料です。 ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。 <p>◆入会の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。 <p>◆部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発 ・自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催 ・循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等
--

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局

(宇治田原町建設・環境課内)

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6637 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 ^わ水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原